

## 新しい年のスタート

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく申し上げます。

生徒の皆さんと保護者の皆様にとって、すばらしい1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

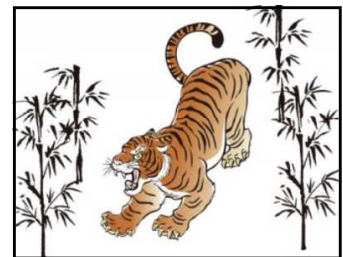
今日は、新年最初の登校日ということで、全校朝礼を行いました。冬休みが明け、今年度も残すところあと3ヶ月ほどとなりました。3年生にとっては、卒業式まであと2ヶ月を切りました。現在、全国的に新型コロナウイルス感染症の新規感染者が急速に増加し、第6波に入ったと言われています。感染力が強いオミクロン株の影響も含め、愛知県も今後、感染の急拡大が予想されます。今一度気を引き締めて、基本的な感染対策である、「手洗い・手指消毒」「マスク着用」「換気」に努めていく必要があります。保護者の皆様には、お子様だけでなく、同居のご家族に感染の疑いが見られる場合は、お子様の登校を控えていただくよう、ご理解とご協力をお願いします。



さて、「1年の計は元旦にあり」という言葉があります。元旦は、1年の最初の日の朝のこと、計は、計画という意味です。新しい年を素晴らしい1年にするために、最初にしっかりと計画を立てることが大切です。生徒の皆さんは、新しい年の目標を立てましたか。皆さんが立てた目標をぜひ達成できるよう、取り組み始めてほしいと思います。それとともに、暁中の合言葉である、「時を守り、場を清め、礼を正す」「凡事徹底」を意識した生活を心がけてください。

### ○ 校長講話

本年は寅年です。虎(寅)は、十二支の中では、想像上の龍(辰)を除けば、日本には元来いなかった動物です。明治以降に動物園で飼育されるようになり、虎が一般に見られ知られるようになったと言われています。しかし、それ以前はかなり昔から、中国や朝鮮によって、虎に関するものが日本にもたらされていました。



皆さんは、室町時代の僧侶、とんちで有名な一休さんの「屏風の虎退治」という話を知っていると思います。将軍足利義満が「屏風絵の虎が、夜な夜な屏風を抜け出して暴れるので退治して欲しい」と一休さんに言ったところ、「それでは捕まえますから、虎を屏風絵から追い出して下さい」と切り返し、義満を思わずうならせ、感心させた話です。名古屋城の復元された本丸御殿で展示されている「竹林豹虎図(ちくりんひょうこず)」の虎を見た人もいます。また、京都で、国宝の二条城二の丸御殿で、「竹林群虎図(ちくりんぐんこず)」で見たという人もいます。



どうして、将軍のいる御殿に、虎の絵が描かれていたのでしょうか。それは、虎は権力の象徴、城の守り神だったからです。つまり、将軍に会いに来た諸大名を虎が描かれた部屋で一旦待たせ、虎の絵を見させることによって、将軍の権力の大きさを感じさせたということです。虎が権力の象徴、城の守り神という見方は、実際に虎の生態観察に基づくものではなく、中国の影響を受けたものです。次の3つのことわざだけでも、どのような見方をされていたか分かります。

① 虎は飢えても死したる肉を食わず

… 潔白な人物は、どんなに困窮しても不正なものを受け付けないということ。

② 虎は千里の藪(やぶ)に住む … 優れたものは、広々として奥深い所にいるということ。

③ 虎は一日に千里行く

… 虎が、一日のうちに千里もの距離を歩き、さらに戻って来ることができるということ。

寅年は、「成長」や「始まり」の年とも言われます。新型コロナウイルス感染症の収束には、まだまだ時間はかかると思いますが、その中でも生徒の皆さんには、目標に向かって挑戦したり、新しいことを始めたりして成長につなげてほしいと思います。

### ○ 伝達表彰

・ 男子卓球部 2021年度海部地区中学校冬季卓球大会 準優勝